NEXTES PRESS RELEASE

報道関係者各位

2026 年 11 月 5 日
株式会社 NEXTES

NEXTES の蓄電池が“地域の防災インフラ”に

災害時に避難所へ電力供給する笠間市の系統用蓄電事業に採用



株式会社 NEXTES（本社：東京都世田谷区、代表取締役：井上真壮、以下「NEXTES」）は、茨城県笠間市で進められている系統用蓄電所計画において、当社の 13ft 水冷式系統用蓄電池が採用されたことをお知らせいたします。

本事業は、笠間市、芙蓉総合リース株式会社および東電タウンプランニング株式会社が進めるもので、平常時は電力市場での取引に活用しながら、災害時には拠点避難所である笠間市民体育館へ電力を無償で供給する“防災連携型”の系統用蓄電所を整備する取り組みです。

蓄電容量 8,000kWh は、単純換算で一般家庭約 800 世帯の 1 日分の電力使用量に相当します（※1 世帯 1 日あたりの電力使用量を 10kWh として算出）。

事業概要

所在地	：茨城県笠間市（笠間市民体育館隣接地）
出力	：2,000kW
電池容量	：8,000kWh
系統電圧	：6kV
運転開始時期	：2026 年 10 月 30 日
採用製品	：NEXTES13ft 水冷式系統用蓄電池

※事業概要は東電タウンプランニング株式会社の公表内容に基づいています。

避難所への電力供給を見据えた取り組み

近年、再生可能エネルギーの導入拡大に伴い、発電量の変動を調整する系統用蓄電池の重要性が高まっています。

今回の取り組みでは、拠点避難所である笠間市民体育館の隣接地に系統用蓄電所を整備します。平常時は電力市場での取引を通じて充放電を行いながら、広域かつ長期間の停電を伴う災害時には、蓄電池に蓄えた電力を笠間市民体育館へ無償で供給し、非常用電源として活用することが計画されています。

国の補助金等に依存しない形で災害時に避難所へ電力を提供する系統用蓄電事業は、国内初の取り組みとなります（東電タウンプランニング株式会社公表）。平常時の電力活用と非常時の電力確保を両立する新たなモデルとして期待されています。

また、系統用蓄電所は再生可能エネルギーの有効活用や発電抑制の回避にもつながるので、再生可能エネルギーの導入が進む地域において、地域で生み出された電力を有効に活用するための設備としても重要な役割を担います。



2026 年 10 月 30 日（金）に運開式を実施



ラッピングデザインを東電タウンプランニング株式会社が担当

NEXTES の蓄電池が採用

本事業では、NEXTES の 13ft 水冷式系統用蓄電池が採用されています。本製品は、水冷方式による効率的な温度管理と日本国内の設置・輸送条件に対応したコンパクトな 13ft コンテナ設計が特徴です。
NEXTES の蓄電池は、国内関連規格に準拠していることに加え、東電グループの高い安全基準である、東電認証を取得したことが評価されて本件での採用となりました。
さらに、独自のバランシング技術により電池の状態を安定的に管理し、長寿命化と安定運用を両立しています。避難所に隣接し、災害時には確実に電力を供給することが求められる本事業において、長期にわたり安定して稼働し続ける蓄電池であることは重要な要素です。
NEXTES は、蓄電池を単なる設備としてではなく、再生可能エネルギーの活用や災害時の電力確保を支える社会インフラの一つとして提供しています。

当社の取り組みと今後の展開

NEXTES は、蓄電池の開発・製造から蓄電システム向け製品の提供までを一貫して行っています。系統用蓄電池が電力需給の調整だけでなく、地域の防災機能向上にも活用される事例は今後さらに広がっていくと考えられます。NEXTES は、安全性と信頼性を備えた蓄電池の提供を通じて、こうした地域の取り組みを支えてまいります。

【会社概要】

会社名	株式会社 NEXTES（旧 NExT-e Solutions 株式会社）
英文社名	NEXTES Inc.
代表取締役	井上 真壮
本社所在地	東京都世田谷区若林一丁目 18 番 10 号 京阪世田谷ビル 6F
設立	2008 年 5 月 8 日
事業内容	リチウムイオン電池の次世代バッテリーマネジメントシステム（BMS）および同 BMS を用いた蓄電システム等の開発・製造・販売、アフターサービス、蓄電所の運用、アグリゲーション、バッテリーリユース

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社 NEXTES　広報担当：相原 美輝
TEL：03-5844-6011　MAIL：pr@nextes.jp